

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年2月7日

東

上場会社名 株式会社ジャムコ 上場取引所
 コード番号 7408 URL <https://www.jamco.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大喜多 治年
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 後藤 健太郎 (TEL) 042-503-9145
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	65,337	5.5	1,174	△57.5	786	△70.5	339	△78.9
2019年3月期第3四半期	61,950	10.8	2,762	△8.7	2,670	△9.0	1,611	21.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 230百万円(△87.1%) 2019年3月期第3四半期 1,796百万円(4.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	12.67	—
2019年3月期第3四半期	60.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	114,420	30,384	26.1
2019年3月期	102,980	30,715	29.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 29,855百万円 2019年3月期 30,173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,600	10.1	2,900	△32.9	2,200	△33.1	1,300	△31.9	48.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	26,863,974株	2019年3月期	26,863,974株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	38,932株	2019年3月期	38,832株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	26,825,082株	2019年3月期3Q	26,825,193株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国の経済は緩やかに成長が続いているものの、米中通商問題や英国のEU離脱をめぐる混乱への懸念などにより、景気の減速感が高まりました。又、ドル円為替相場は対米ドル円レート112円台前半から105円台前半の範囲で推移しました。

航空輸送業界では、格安航空会社(LCC)の攻勢による競争の激化が続いている一方、世界的な航空需要の拡大により、大手エアラインは新規運航路線の獲得や客室サービスの向上、LCCへの参画など様々な戦略を打ち出しています。航空機メーカーでは、一時的にはボーイング737MAX型機の運航停止の影響やボーイング787型機の減産が懸念される状況にありますが、中長期的には旅客需要の高まりを背景に、ボーイング、エアバス共に依然として高水準の受注残機数を維持しており、一部機種を増産や燃費効率の向上を目指した新機種の開発が進むなど航空機市場は引き続き堅調に推移すると見込まれています。

こうしたなか当社グループでは、航空機内装品等製造関連・航空機シート等製造関連においては、2019年3月26日に公表しました不適切な品質事案に対して、原因究明・安全性の検証を行なうと共に是正・再発防止に取組み、より高いコンプライアンス・品質意識への変革を進めました。

航空機器等製造関連においては、生産性改善に取組むと共に、これまで培った金属加工技術を生かし、内装品やシート部品の内製化を進めました。

航空機整備等関連においては、飛行安全の確保と品質向上の取組みを継続すると共に、エアライン向け機体整備の拡大に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高 65,337百万円(前年同四半期比 3,386百万円増)、営業利益 1,174百万円(前年同四半期比 1,587百万円減)、経常利益 786百万円(前年同四半期比 1,883百万円減)、親会社株主に帰属する四半期純利益 339百万円(前年同四半期比 1,271百万円減)となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末に第4四半期連結会計期間以降の完成工事に対する工事損失引当金を 4,068百万円計上しています。この工事損失引当金による期間損益への影響は、当第3四半期連結会計期間において売上原価 354百万円の増加(第2四半期連結累計期間末の工事損失引当金は 3,713百万円)、又、当第3四半期連結累計期間においては売上原価 287百万円の増加(前連結会計年度末の工事損失引当金は 3,781百万円)となりました。

グループ全体の販売費及び一般管理費、営業外損益、特別損益の状況は次のとおりです。

販売費及び一般管理費は、保証工事費、販売手数料の減少などにより 6,162百万円(前年同四半期比 584百万円減)となりました。

営業外損益は、前連結会計年度末よりも為替相場が円高で推移し為替差損益が悪化したことなどにより 388百万円の損(前年同四半期は、91百万円の損)となりました。

特別損益は、賠償保険により品質事案に係る受取保険金 60百万円を計上していますが、品質関連損失などにより、215百万円の損(前年同四半期は、127百万円の損)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

[航空機内装品等製造関連]

当事業では、不適切な品質事案への対応により、一時的に製品の出荷に遅延が発生していましたが、当第3四半期連結会計期間において製品の出荷が進んだことから前年同四半期に比べ売上高は増加しました。一方、経常利益については、出荷遅延改善に伴う人件費及び輸送費用などの増加に加え、前年同四半期における採算性の良いプログラムの出荷による反動などにより前年同四半期に比べ減少しました。

この結果、航空機内装品等製造関連は、売上高 43,735百万円（前年同四半期比 1,381百万円増）、経常利益 2,219百万円（前年同四半期比 2,181百万円減）となりました。

[航空機シート等製造関連]

当事業では、ビジネスクラス・シート「Venture」の出荷が進み、前年同四半期に比べ売上高は増加しました。一方、経常損益については、不適切な品質事案の対応として一時的に株式会社宮崎ジャムコにおける生産を停止し、生産拠点の振替を行ったことに伴う追加費用などにより経常損失となりました。

この結果、航空機シート等製造関連は、売上高 11,614百万円（前年同四半期比 2,057百万円増）、経常損失 1,748百万円（前年同四半期は、経常損失 1,796百万円）となりました。

[航空機器等製造関連]

当事業では、売上高は熱交換器等装備品の出荷が増加したものの、航空機エンジン部品の一部出荷が第4四半期連結会計期間以降に繰り延べられたことにより前年同四半期に比べ減少しました。又、経常損益については、売上高減少などにより経常損失となりました。

この結果、航空機器等製造関連は、売上高 4,125百万円（前年同四半期比 372百万円減）、経常損失 182百万円（前年同四半期は、経常損失 61百万円）となりました。

[航空機整備等関連]

当事業では、エアライン向けの機体整備及び装備品整備が堅調に増加したことにより、前年同四半期に比べ売上高は増加しました。又、経常利益については、売上高増加の影響や採算性向上の取り組みなどにより前年同四半期に比べ増加しました。

この結果、航空機整備等関連は、売上高 5,861百万円（前年同四半期比 320百万円増）、経常利益 501百万円（前年同四半期比 371百万円増）となりました。

[その他]

その他の区分には、連結子会社の株式会社オレンジジャムコの事業を含んでおり、航空機内装品等製造関連の補助作業等セグメント間の内部取引が中心で、順調に進めることができました。

この結果、その他の区分では、売上高 0百万円（前年同四半期比 0百万円増）、経常損失 2百万円（前年同四半期は、経常損失 1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債・純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は114,420百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,439百万円増加しました。内、流動資産については、現金及び預金の減少(前期末比142百万円減)等がありましたが、受取手形及び売掛金の増加(前期末比5,277百万円増)、原材料及び貯蔵品の増加(前期末比4,501百万円増)等により流動資産合計で前連結会計年度末に比べ11,836百万円増加しました。又、固定資産については、当第3四半期連結累計期間の投資案件が比較的少なかったことから有形固定資産の減少(前期末比243百万円減)、投資その他の資産の減少(前期末比176百万円減)等により固定資産合計で前連結会計年度末に比べ397百万円減少しました。

負債合計は84,035百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,769百万円増加しました。主な要因は、未払法人税等の減少(前期末比1,377百万円減)等がありましたが、短期借入金の増加(前期末比13,587百万円増)、支払手形及び買掛金の増加(前期末比1,566百万円増)等によるものです。

純資産合計は30,384百万円となり、前連結会計年度末に比べ330百万円減少しました。主な要因は、配当金の支払などによる利益剰余金の減少(前期末比196百万円減)等によるものです。この結果、自己資本比率は26.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高は、航空機内装品等製造関連・航空機シート等製造関連における不適切な品質事案への対応により、一時的に製品の出荷に遅延が発生していましたが、当第3四半期連結会計期間から製品の出荷が進みました。

一方、利益は、出荷遅延改善に伴う人件費及び輸送費用など追加費用の影響が残るものの、製品の出荷が進んでいることや為替レートが想定よりも円安に推移していることから2019年11月8日公表の通期連結業績予想に変更はありません。

なお、通期連結業績の前提となる第4四半期連結会計期間の為替レートは、足元の状況を踏まえ、105円/米ドルから108円/米ドルへ変更しています。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,822,330	5,679,351
受取手形及び売掛金	22,571,490	27,849,386
商品及び製品	2,240,670	2,586,068
仕掛品	30,282,883	30,341,169
原材料及び貯蔵品	16,203,864	20,704,955
その他	3,484,320	5,289,983
貸倒引当金	△3,388	△12,016
流動資産合計	80,602,172	92,438,899
固定資産		
有形固定資産	13,988,321	13,744,710
無形固定資産	1,750,249	1,772,900
投資その他の資産	6,640,107	6,463,804
固定資産合計	22,378,679	21,981,415
資産合計	102,980,852	114,420,314
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,821,292	10,387,660
電子記録債務	8,910,255	9,041,835
短期借入金	17,404,112	30,991,422
1年内返済予定の長期借入金	2,300,000	2,300,000
未払法人税等	1,465,270	88,254
前受金	10,675,352	9,805,841
賞与引当金	1,696,645	879,822
工事損失引当金	3,781,190	4,068,472
品質関連損失引当金	67,817	-
その他	4,434,703	4,517,932
流動負債合計	59,556,639	72,081,241
固定負債		
長期借入金	3,700,000	2,900,000
退職給付に係る負債	7,070,783	7,115,907
損害補償損失引当金	921,541	828,622
その他	1,016,411	1,109,545
固定負債合計	12,708,736	11,954,074
負債合計	72,265,376	84,035,316

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,359,893	5,359,893
資本剰余金	4,309,484	4,309,484
利益剰余金	20,413,755	20,217,240
自己株式	△30,968	△31,175
株主資本合計	30,052,165	29,855,443
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166,007	164,023
繰延ヘッジ損益	50,597	△17,602
為替換算調整勘定	121,844	48,155
退職給付に係る調整累計額	△217,091	△194,188
その他の包括利益累計額合計	121,358	387
非支配株主持分	541,951	529,167
純資産合計	30,715,475	30,384,998
負債純資産合計	102,980,852	114,420,314

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	61,950,487	65,337,304
売上原価	52,440,732	57,999,844
売上総利益	9,509,754	7,337,459
販売費及び一般管理費	6,747,751	6,162,790
営業利益	2,762,003	1,174,669
営業外収益		
受取利息	25,646	37,944
受取配当金	5,222	5,300
為替差益	311,254	-
持分法による投資利益	-	5,496
受取保険金	-	50,838
助成金収入	80,361	107,182
その他	66,918	38,976
営業外収益合計	489,404	245,739
営業外費用		
支払利息	291,062	314,669
為替差損	-	91,552
持分法による投資損失	22,599	-
支払補償費	140,995	74,653
その他	126,334	152,877
営業外費用合計	580,992	633,752
経常利益	2,670,415	786,655
特別利益		
受取保険金	-	60,000
特別利益合計	-	60,000
特別損失		
固定資産処分損	127,143	18,242
災害損失	-	13,306
品質関連損失	-	244,243
特別損失合計	127,143	275,793
税金等調整前四半期純利益	2,543,272	570,862
法人税、住民税及び事業税	785,555	60,319
法人税等調整額	151,092	149,717
法人税等合計	936,647	210,037
四半期純利益	1,606,624	360,824
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,014	20,836
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,611,638	339,987

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,606,624	360,824
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45,208	△1,984
繰延ヘッジ損益	9,799	△68,199
為替換算調整勘定	184,437	△82,630
退職給付に係る調整額	41,075	22,902
持分法適用会社に対する持分相当額	△275	-
その他の包括利益合計	189,828	△129,911
四半期包括利益	1,796,452	230,912
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,778,378	219,017
非支配株主に係る四半期包括利益	18,073	11,895

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当第3四半期連結累計期間
(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している在外連結子会社において、当第1四半期連結会計期間より国際財務報告基準第16号「リース」を適用しております。

当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	航空機 内装品等 製造関連	航空機 シート等 製造関連	航空機器等 製造関連	航空機 整備等関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	42,354,295	9,557,211	4,498,569	5,540,392	61,950,469	17	61,950,487
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,133,008	174,404	10,902	29,360	1,347,675	81,566	1,429,242
計	43,487,304	9,731,615	4,509,471	5,569,753	63,298,144	81,584	63,379,729
セグメント利益 又は損失(△)	4,400,562	△1,796,643	△61,578	129,914	2,672,254	△1,838	2,670,415

(注) 「その他」の区分には、関係会社の㈱オレンジジャムコの事業を含んでおります。㈱オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,672,254
「その他」の区分の損失(△)	△1,838
四半期連結損益計算書の経常利益	2,670,415

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	航空機 内装品等 製造関連	航空機 シート等 製造関連	航空機器等 製造関連	航空機 整備等関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	43,735,676	11,614,498	4,125,973	5,861,126	65,337,275	29	65,337,304
セグメント間の内部 売上高又は振替高	391,219	151,831	28,602	40,326	611,980	82,089	694,069
計	44,126,895	11,766,330	4,154,576	5,901,452	65,949,255	82,118	66,031,374
セグメント利益 又は損失(△)	2,219,480	△1,748,297	△182,804	501,126	789,505	△2,849	786,655

(注) 「その他」の区分には、関係会社の㈱オレンジジャムコの事業を含んでおります。㈱オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	789,505
「その他」の区分の損失(△)	△2,849
四半期連結損益計算書の経常利益	786,655

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。